



東京グリーン

Chartered 1973

〒135-0016
東京都江東区東陽 2-2-20
東京 YMCA 東陽町センター内



To Acknowledge the Duty that Accompanies Every Right

< 2023.12 >

BULLETIN

2023年7月～2024年6月

会長 樋口 順英
副会長 青木 方枝
書記 西澤 紘一
会計 柿沼 敬喜
監事 柿沼 敬喜
監査 西澤 紘一
担当主事 柳原みづき

国際会長 ウルリック・ラウリドセン 「輝かそう、あなたの光を」
アジア太平洋地域会長 利根川 恵子 「変革のための光となろう」
東日本区理事 山田 公平 「未来のために今、学びと気づきを！
未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う！」
関東東部部長 長尾 昌男 「親睦を糧に、クラブライフの充実」
クラブ会長 樋口 順英 「51年目からの新たな出発」

12月 クリスマス

神はそのひとり子を賜わったほどに、この世を愛して下さった。それは御子を信じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである。(ヨハネによる福音書 3 章 16 節) < 私たちが犯してしまう罪を赦そうと救いの神さまが本当に私たち人間社会に来てくださった！信じます？ 祝います？ 祝いましょう、信じましょう >

2023年12月村杉メン歓迎クリスマス例会

日時：2023年12月20日(水) 17:00～20:00

★場所：すなっく「華(はな)」

江東区大島4-2-5, 中西ビル3F

電話：090-3232-3497

★アクセス：都営新宿線西大島駅下車、

A4 出口から南進150m

★受付：青木メン、 進行：佐野メン

開会点鐘	樋口 会長
ワイズソング・ワイズの信条	全 員
聖句・お祈り	西澤 メン
ゲスト、ビジター紹介	樋口 会長
各種報告	樋口 会長
YMCA 報告	柳原 主事
ハッピーバースデー	西澤与子メン
閉会点鐘	樋口 会長

★ご出席の方は、12/15迄に青木メンまでご連絡下さい

【例会出席率】 在籍：16名 11月出席率7/13 54%

出席：11月 (メン7名、メネット0名) 計7名

【ニコニコ】 山中湖センター記念募金

「第2報」2024年在京ワイズ合同新年会お知らせ

在京ワイズ合同新年会実行委員長 佐野 守
ワイズの皆様各位、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、首記の件、この度は、多くのクラブの皆様からご出席お申込を頂き、まことにありがとうございます。

ついては、当日のプログラムおよび参加登録費などが決まりましたので下記ご報告させていただきます。

記

- 日時：2024年1月13日(土) 13:30～16:30
- 会場：東京YMCA東陽町コミュニティーセンター 1Fおよびカフェテリア室
- プログラム：本ブリティン3ページをご覧ください。
- 参加登録費：4,000円/人
- 参加登録費は恐れ入りますが12月25日迄にクラブ毎にまとめて東京グリーンクラブ会計係「柿沼」の下記口座に振り込みをお願いいたします。

振込口座：京葉銀行こてはし台支店(店番号：435)

口座番号：(普通)3856346 カキヌマケイキ名義

なお、現在まだ会場には若干の余裕がありますので、未申込の方はご参加をお待ちしております。(先着順)

◆2023年11月第一例会報告

日時：2023年11月16日(木) 18:30～20:30

場所：東京YMCA 東陽町コミュニティーセンター

出席者：青木、柿沼、小仁、西澤、村杉、柳原、樋口各メン

▲当クラブ史上初、3クラブ合同例会

東京江東クラブ小松副会長からの提案で、東京ひがしクラブと3クラブ合同例会を行ないました。各クラブの流儀にすこし戸惑いましたが大差なしで、和気あいあいと楽しい時間を共有しました。



▲メンバースピーチ

東京江東クラブ 寺尾 紀昭 メン【写真】

卓題「レコードの溝には物語が刻まれている」



各クラブ有志が、大事にしているレコードを持ち寄り、その思い出を披露しました。

我がクラブは、レコードの持ち主高谷メンから4枚をお借りし、うち3曲をターン

テーブルに載せました。いずれも保存がよく、いい音が蘇り、懐かしい時間を過ごすことができました。



【写真上、3クラブバナー】

【写真右、村杉メン新入ご挨拶】



【「思い出のサンフランシスコ」に聴き入るグリーンクラブのメンバー】



▲ Happy 結婚記念日お祝い 記念撮影



【写真左から、小松、柿沼、野澤、千代各メン】

▲ 江東クラブの司会進行はすばらしく、敬意を表するとともに、こんな楽しい時間をつくっていただいた寺尾メンおよびクラブスタッフの皆様方に改めて敬意を表します。ありがとうございました。（樋口 記）

◆関東東部第2回評議会報告

日時：2023年11月18日(土) 13:30～17:00

場所：東京YMCA 東陽町コミュニティーセンター

出席者：樋口メン(総出席者25名、委任状10名により成立)



前半は、長尾部長の報告のあと、主査、各クラブ会長による活動報告が行われ、今後のクラブ運営のため勉強になりました。

後半は、2議案可決、1協議案につき意見交換のあと、事務手続き、会計からのお願い事項説明受けました。

★なお、来年度の関東東部大会は2024年10月19日(土)川越にて開催予定に入れておいてください。

当日配布資料は、役員あて送付済です。（樋口 記）

◆熱海クラブ創立60周年記念例会出席報告

日時：2023年11月26日(日) 13:00～18:00

場所：熱海後楽園ホテル

出席者：青木、樋口各メン

「感動を紡ぐ」創立60周年記念例会が、温泉にちなみ、イフロ(11/26)の日に開催されました。

熱海市市長、議員はじめ、要職の方々、YMCA、ワイズ関係役員のご来賓のほか、全国ワイズ27クラブ、IBC2クラブから、180名以上出席の盛大な祝典となりました。



▲ 第1部:式典

錚々たるご来賓の挨拶、入会式、メモリアルアワー

▲ 第2部:記念事業

放課後児童クラブ活動資金贈呈、「ありがとう」作文コンクール表彰と発表があり、子供たちの純粋な感動のところに、心が洗われる思いでした。

▲ 第3部:懇親会

IBC のマニラダウンタウンクラブ、DBC の京都パレスクラブのメンバーとの交流で、貴重な時間を過ごすことができました。

クラブを挙げて準備してこられた熱海クラブのホスピタリティに改めて深謝申し上げます。(樋口 記)

◆(IBC)マニラダウンタウンクラブとの交流

日時:2023年11月29日(水) 13:00~19:00

場所:浅草、スカイツリー

熱海クラブ60周年記念例会出席の後 IBC マニラダウンタウンクラブ、ジェイソン会長ら6名が東京を訪問されました。利根川アジア太平洋地域会長御夫妻とともに青木、樋口各メンが浅草、スカイツリーを案内しました。

コロナ禍で、疎遠になっておりましたが、これを契機にこれまで同様、活発なお付き合いを再開したいと思います。



【写真:浅草寺宝蔵門、左から3人目がジェイソン会長】

◆2024 年在京ワイズ合同新年会プログラム

▲開催日時:2024年1月13日(土) 13:30~16:30

▲受付開始:13:00

▲第1部:礼拝(13:30~13:55)

- ・開会点鐘 在京ワイズ会長会幹事—金丸満男
- ・ワイズソング
- ・讃美歌 312 番「いつくしみ深き」
- ・聖句・奨励・祈祷 西澤 紘一(東京グリーン)
- ・献金:山中湖センター100周年記念募金のため
- ・歓迎のことば 樋口 順英(東京グリーン)
- ・来賓者の紹介 同上
- ・祝辞 YMCA同盟総主事 田口 努 様
- ・祝辞 東京YMCA副総主事 星野 太郎 様

▲第2部:アトラクション(14:00~14:45)

「あっ!どこかで、きいたことある!

新春コンサート」[アンディムジーク]

▲第3部:賀詞交歓会(15:00~16:30)

- ・食前の感謝 村杉 一榮(東京グリーン)
- ・鏡開き(樽酒割り)
- ・乾杯ご発声 東日本区理事 山田 公平 様
(賀詞交歓)
- ・礼拝献金贈呈 東日本区理事山田 公平 様に
- ・参加クラブの紹介 佐野 守(東京グリーン)
- ・アピールタイム (事前に申込者のみ)
- ・YMCAの歌
- ・感謝のことば 佐野 守(東京グリーン)
- ・閉会点鐘 在京ワイズ会長会幹事—菰刈 光彦

(柿沼・樋口 記)

◆2023年12月第二例会(役員会)議題

日時:2023年12月13日(水) 18:00~20:00

場所:千代田区和泉橋区民館4F-C

1. 2024 年在京ワイズ合同新年会打合せ
式次第と役割分担の最終決定
2. 12月10日(日)クリスマスオープンハウス報告
3. 12月20日(水)村杉メン歓迎クリスマス例会
4. ワイズ、プロボリスト作成のお願い(人材DB)
5. その他

◆今後の主なスケジュール

- ① 12月20日(水) 12月クリスマス例会
- ② 1月10日(水) 2024年1月役員会(Zoom)
- ③ 1月12日(金) 在京ワイズ合同新年会準備
- ④ 1月13日(土) 在京ワイズ合同新年会(東陽町)
- ⑤ 1月17日(水) 1月新年例会(東陽町)

応仁の乱(戦国時代を生んだ大乱)

呉座勇一著

中央公論新社(2016年10月)

専門性の高い中公新書のシリーズとして出版されたこの本は、瞬く間に20万部を超えて静かなベストセラーとなった。本を紐解くと、歴史文献を駆使して、きわめて精緻に時代背景や合戦の様子が描かれている。そこに物語性も魅力あるエピソードもない。ただ無機的に歴史が延々と綴られている。にもかかわらず売れているのは、応仁の乱と言う500年以上も前に11年も続いた大乱の史実が現代に投影されているからだろう。

南北朝の統一が成就して足利幕府の平和が続いていた頃、体制派として君臨していた細川勝元と新興勢力として台頭を始めた山名宗全なる大名同士の覇権争いが乱のきっかけである。細川家は当時の権威の象徴であった興福寺に連なり、また將軍家をバックにしていた。一方、西国大名である山名家は、西国経済をバックに幕府への挑戦を試みていた。そこに、將軍足利義政の後継争い、すなわち義政の弟義視と後に生まれた実子義尚との対立が生じ有力大名の畠山家も分裂して義就が山名家に長政が細川家に付くと言う複雑な関係が生まれた。

1467年山名指揮する西軍と細川指揮する東軍に分かれて戦闘が始まった。將軍の跡目争いに部下の大名が関与し同じ家系に属する大名までもが敵味方に分かれて争う大儀なき乱であった。これは第1次世界大戦の争いのきっかけに似ている。オーストリアの皇太子がセルビアの青年に暗殺されたことがきっかけとなり新興国ドイツがセルビアに宣戦布告、旧勢力である仏、露、英がセルビアを支援する形で戦いが始まった。誰もが望まない戦争であり、かつ3ヶ月で終焉すると思っていた戦争が数年続き、最後はドイツの降伏で終焉するが勝者、敗者とも得るものがなく欧州全体が疲弊きつた。それが第2次大戦へ繋がる遠因となったと言う。その時代を仕切る体制派とその体制を打破したい挑戦派は常に存在する。そして、些細なきっかけで戦いになり大義がないまますぐに収束できなくて、だんだん戦争が続くと言う悪循環を人類は繰り返してきた。

応仁の乱も雲の上の争いに便乗した下級武士が下克上しながら上昇志向を強めた結果である。足輕制度、合戦の報奨制度、興福寺の別当(門主)任用権など戦時ならではの制度や人事での人心操り術思考が生まれてきた。京都や奈良を舞台として和平交渉が何度も開かれるが、僅かな損得の差や戦争を続けたい連中の裏切りによりなかなか終焉しない。戦争終結が如何に困難かが良く分かる。結局山名宗全と細川勝元の両大將が没し、西軍が敗走したため1477年ようやく戦火は終わった。その結果、旧来体制が崩壊し次の時代である戦国時代になだれ込む。天皇をトップとした旧体制が誰にでもチャンスがある戦国時代へと転換させたのが応仁の乱の意義であったと著者は結論つける。

(西澤 記)

1. 10月28日、「山中湖センター100周年記念感謝会」が山中湖センターで開催され、会員、山中家族キャンプ関係、山中湖村関係者、近隣YMCA関係者、リーダーOB OG、現役リーダー、職員など、約83名が集った。
2. 11月6日～8日、「第21回ソウル・台北・東京YMCA指導者協議会」(STT)が「神の視点と聖書の知恵から現在の経済状況に向き合う」のテーマで、台北YMCAを会場に開催された。3都市YMCAの役員、会員、職員など50名が集い、東京YMCAからは榊原正人理事、菅谷淳総主事他、計8名が参加した。
3. イスラエルとパレスチナの武力衝突が激化しているが、世界YMCAの緊急支援の呼びかけを受けて、日本全国のYMCAで「パレスチナ緊急支援募金」を開始した。募金は、以前から紛争下にあるこの地域の平和を願い活動をしている3つのYMCA(ガザYMCA、東エルサレムYMCA、エルサレム・インターナショナルYMCA)が行う人道支援活動のために用いられる。
4. 11月18日、「国際協力一斉街頭募金」を新宿駅周辺で4年ぶりに実施した。会員、ユースボランティア、学生、メンバー、職員など、133名が街頭に立ち、バングラデシュ、ウクライナ、パレスチナへの支援を呼びかけ、235,265円が寄せられた。
5. 今後の主な行事日程
 - 1) 「山中湖センター100周年記念チャリティーゴルフ」
12月7日(PGM総成ゴルフクラブ)
 - 2) 「山中湖センター100周年記念チャリティーボウリング」
2月4日
(ボウリングサロン・ザ プリンスパークタワー東京)
 - 3) 「第9回日中韓YMCA平和フォーラム」
2月1日～4日(上海)
 - 4) 「ソシアスフォーラム2023」2月17日
(クラブ担当主事:柳原)

